



# CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

August 2020 January 2021

## ご挨拶



一般社団法人  
日本インプラント臨床研究会

会長  
田中 讓治

### 新年のご挨拶

会員の皆様におかれましては、日頃より会へのご協力誠にありがとうございます。昨年の初期から出現した新型コロナウイルスのパンデミックは全世界の社会を大きく変えてしまいました。感染拡大により影響を受けておられる皆さまにおかれまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く終息し平穏な日常を取り戻すことを願っております。

会の運営においても、当然ネガティブにとらえざるを得ない現状ですが、Zoomを用いた会議から始まり、CISJ オンデマンドの立ち上げ、研修会においてもオンライン & 参集そしてオンデマンド発信を試みており、忘年会においても、おそらく業界初のオンライン忘年会も企画をさせて頂き幸いにも皆様のご協力で好評を得ることができました。また、CISJ 歯科衛生士登録制度の発足、そして第13回全員発表研修会および創立45周年記念大会の事後抄録をまとめた書籍も高い評価を得ております。本年も先を見通しづらい状況ですが皆様方と英知を集結して未曾有の難局を乗り越えていけるよう全力を尽くしていきたく考えております。ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。毎年恒例の全員発表研修会も第15回を迎えようとしており、どのような形式でおこなうか検討中ですが是非とも成功させたく思っております。

さて、このような渦中において、昨年は第50回日本口腔インプラント学会記念学術大会（大会長：井汲憲治先生）が皆様方のご協力で盛会に終えたことを心よりお礼申し上げます。1施設から無謀ともいえる50演題発表という目標を掲げたところ、ポスター発表全体で224演題中なんと当会より57題の演題発表という快挙を果たすことができました。当会の団結力に敬意を表します。誠にありがとうございました。また、当会の実行委員の先生方をはじめ大会準備にあたってくれた先生方に改めてお礼申し上げます。

このような中、認定講習会をはじめ当会の在り方や学会について多くの助言をして下さり、当会を先導した下さっておりました大田善秋副会長の突然の悲報には驚愕しております。人望が厚く多くの会員の先生方から慕われていて当会になくはならない存在であったのに、いまだに信じられません。ジャズの歌声が思い出されます。心からご冥福をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、今年の干支は「丑（うし）」で、十二支の動物の中で最も動きが悠然で先を急がず手堅く物事を進めることが大切な年と言われています。新型コロナウイルス感染拡大の早期終息を願うとともにwith コロナにおいても一步一步着実に前進していき、本年も会員の方々のさらなる活躍と飛躍の年となることをお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。